



IBJ* 防除情報

第84号

(*Ishihara Bioscience Japan=石原バイオサイエンスの略)

ご説明
します



今月の特集

畑作圃場の雑草

今月号は、にんじんやだいず、かんしょ等の畑に発生する雑草についてご紹介します。

イネ科雑草

メヒシバ

畑地、畦畔、道ばた、空き地など、肥沃な土地に広く分布し、日本全国で最も普遍的に発生する一年生イネ科雑草。葉齢が低い場合は広卵形、長楕円形で水平に広がる。

地際で分けつし、地面を放射状に這って広がる。細長い花茎を斜上し、その先に掌状に総を出す。



メヒシバ



アキノエノコグサ

アキノエノコグサ

ねこじゃらしの別名で有名な一年生イネ科雑草。葉舌は毛が並ぶ。葉身上面と葉鞘縁にまばらな毛があり、ざらつく点が類似のエノコグサ、キンエノコとの識別点になる。

東アジア原産の草種であるが、1930年頃に北米に帰化。現在は、北米から輸入される穀物中にアキノエノコグサの種子が混入しており、逆輸入が確認されている。

イヌビエ

栽培されるヒエに対して、野生種をビエと呼び、ビエのうちイヌビエは水田のほか、水湿地、畑地、草地等生育の幅が広い。

葉には葉舌がなく、葉身、葉鞘ともに無毛。葉舌がないのがこの種の特徴。

タイヌビエと比較し、葉鞘が赤紫色になるものが多い。



イヌビエ



イヌビエの葉鞘

広葉雑草

シロザ、アカザ

ヒユ科アカザ属に属する。ユーラシア原産の史前帰化植物と考えられている。道ばた等にも発生するが、肥沃な畑地などでは大型になり、作物にとって強害雑草にもなりうる。

特に窒素の多い場所を好み、肥料の多く撒かれた場所などにも群生する。

新芽に、シロザには白い粉が、アカザには赤い粉が付いており、見ためで区別がつく。



シロザ

アカザ

オオイヌタデ、ハルタデ

タデ科のオオイヌタデは全国に分布しているが、比較的寒地に多い。ハルタデやオオイヌタデは葉身の中央部に黒い斑紋が生じることがある。



オオイヌタデ



黒い斑紋（ハルタデ）

湛水土中에서도種子が生存できるため、転作の大豆圃場ではしばしば問題になる。花穂は白から紅色に染まる。

スベリヒユ

スベリヒユ科スベリヒユ属
畑作圃場の代表的な雑草。養分の高い圃場などで旺盛に生育し、日当たりのよい裸地に多い。

幼植物期の第1,2葉はへら形で多肉質。幼植物期の葉は十字対生状。葉柄は短い。茎は赤みを帯び、地面を這う。



スベリヒユ



弊社製品のご紹介

畑作用除草剤

ワンクロスWG

かんしょに
適用拡大!

農林水産省登録 第23047号

ワンクロスWGの特長

▶ 畑地一年生雑草全般に有効

イネ科雑草全般に高い茎葉処理効果を示す「フルアジホップP」と、一年生雑草全般とくに広葉雑草に対して高い茎葉兼土壌処理効果を示す「リニュロン」の効果により、一剤でほとんどの畑圃場の一年生雑草を防除できます。

▶ 雑草の後発生を抑える

雑草茎葉処理効果のほか土壌処理効果を有し、一定期間 雑草の後発生を抑えることができます。

▶ イネ科雑草に対しては遅効的

広葉雑草に対する効果発現は速効的ですが、イネ科雑草に対する効果発現はやや緩慢で、効果完成まで2~3週間を要する場合があります。

殺草スペクトラム

製品量 (g/10a)	イネ科雑草						広葉雑草					
	メヒシバ	オヒシバ	エノコログサ	アキノエノコ	イヌビエ	カスミノカタビラ	アオゲイトウ	シロサ	タテ類	アメリカセンダングサ	タカサプロウ	イヌビユ
200	○	○	◎	○	◎	◎	○	○	◎	◎	○	◎
250	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎
300	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

◎:効果極大、○:効果大

日本植物調節剤研究協会委託試験および石原産業(株)中央研究所内試験結果より

適用作物と使用方法

*印はそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	総使用回数*	
			薬量	希釈水量				フルアジホップP	リニュロン
だいず	一年生雑草	は種後出芽前 (雑草発生前)	250~300g	100L	1回	全面土壌散布	全域	1回	2回以内 (全面土壌散布は1回以内、雑草茎葉兼土壌散布は1回以内)
		本葉3葉期以降 (雑草生育期) 但し、収穫45日前まで	200~300g			雑草茎葉兼土壌散布 (畦間・株間処理)	全域 (北海道を除く)		
		本葉5葉期以降 (雑草生育期) 但し、収穫45日前まで				北海道			
にんじん	一年生雑草	は種直後 (雑草発生前)	200~250g	100L	1回	全面土壌散布	全域	1回	2回以内 (は種直後は1回以内、にんじん3~5葉期は1回以内)
		3~5葉期 (雑草生育期) 但し、収穫30日前まで				雑草茎葉兼土壌散布			
かんしょ	一年生雑草	生育期 (雑草発生前) 但し、収穫60日前まで	200~300g	100L	1回	雑草茎葉兼土壌散布 (畦間処理)	全域	1回	2回以内 (全面土壌散布は1回以内、雑草茎葉兼土壌散布は1回以内)

※本内容は、2018年1月17日付けの登録内容に基づいています。

ワンクロスWGの作用機作

フルアジホップP (7.0%)

雑草の茎葉部および根部から容易に吸収され、アセチルCoAカルボキシラーゼ（脂肪酸合成の開始反応を触媒する酵素）を阻害することにより、雑草の発芽・生育を停止させ、枯死させます。

メヒシバ5葉期に対する効果



リニュロン (30.0%)

雑草の根部、茎葉部より吸収され、光合成を阻害することにより、雑草の発芽・生育を停止させ、枯死させます。

アオゲイトウ7葉期に対する効果



石原の農薬登録情報



- 2018年6月1日～6月22日までの間に登録された弊社の新農薬（適用拡大を含む）は、次の通りです。（下線部が適用拡大になりました。）

6月13日 適用拡大 ラグビーMC粒剤

<適用病害虫名の追加>

・作物名「ねぎ」の適用病害虫に「ネダニ類」を追加する。

作物名	適用害虫名	10アール当り 使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カズサホスを含む 農薬の総使用回数
ねぎ	ネコブセンチュウ <u>ネダニ類</u>	20kg	定植前	1回	全面処理 土壌混和	1回

弊社では、圃場の土壌を御送付頂き、その土壌中のセンチュウ量を測定し、防除計画の御参考にして頂く無料サービスを継続実施しております。

ISK 石原バイオサイエンス株式会社 本社 普及部

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2

TEL 03-6256-9170 FAX 03-3263-2078

ホームページ アドレス <http://ibj.iskweb.co.jp>



センチュウ検定
無料キャンペーン
実施中